

倉敷市（岡山県）の一体的実施② 平成25年8月26日事業開始

市水島支所4階に「福祉・ジョブサテライトみずしま」を開設し、市とハローワークによる生活保護受給者等に対する早期就職支援のために一体的に実施

市

福祉サービス、生活相談



求職者と面談する就職支援ナビゲーター

国

職業相談、職業紹介

① 事業内容

- ・市とハローワーク倉敷中央の双方の担当で構成される「就労支援チーム」を設置し、綿密な支援が必要な支援対象者ごとに、支援プランを作成する。
- ・担当者制(マンツーマン)により、策定したプランの進捗管理を行い、個々に選定した支援メニュー(職業相談・紹介、カウンセリング、職業訓練メニューの提供・相談等)を実施する。

② 協定・事業計画

- ・倉敷市長、センター理事長及びハローワーク倉敷中央所長の協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を倉敷市とハローワーク倉敷中央の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・倉敷市、センター及びハローワーク倉敷中央で構成する運営協議会を設置。

倉敷市と国の緊密な相互連携と協働により、生活保護受給者等の支援対象者に対する有効な自立支援と、早期就職支援の実現を図る。

(1) 実施体制

市

- ・ 住居・生活支援相談員2名を配置
- ・ 生活保護就労支援相談員1名を配置

国

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供端末3台、職員紹介端末2台を26年2月配置

(2) 事業目標と取組状況

	28年度事業目標	取組状況(29年3月末時点)
チーム支援 対象者数	◇支援対象者数 200人	◇支援対象者数 200人
	(参考)27年度目標(27年4月～28年3月) ◇支援対象者数 200人	(参考)27年度実績(27年4月～28年3月) ◇支援対象者数 200人
就職件数	◇就職件数 120人	◇就職件数 120人
	(参考)27年度目標(27年4月～28年3月) ◇支援対象者数 110人	(参考)27年度実績(27年4月～28年3月) ◇就職件数 111人
就職率	◇就職率 60.0%	◇就職率 60.0%
	(参考)27年度目標(27年4月～28年3月) ◇就職率 55.0%	(参考)27年度実績(27年4月～28年3月) ◇就職率 55.5%

一体的実施事業による就職成功例

女性：20歳代 希望職種：販売（小売店）・軽作業
生活保護受給者 「福祉・ジョブサテライトみずしま」において支援対象者として選定

① 抱える課題

- ・「母子家庭の母」であり、1歳児は保育園に預けての就労となる。性格面に甘さがあり決められた時間が守れなかったり、必要な報告ができなかったりすることがある。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・水島社会福祉事務所の就労支援員のサポートや、就職支援ナビゲーターによる担当者制による支援を実施する中で、自らが家庭生活を守ることの必要性について再認識してもらうところから支援を開始。就労による自立の必要性と社会的ルールを守ることの重要性について、徐々に自覚を持つことができるようになった。なお、子育てについては自身の母親によるサポートも期待できる。

③ 結果

- ・9:00から16:00の間のパートでの就職を目指し、労働条件重視で販売・レジ、飲食店の接客、調理下手間、部品出荷等の様々な募集にチャレンジするが不調に終わる。
- ・引き続き情報提供等を行う中で、書籍やCD等の検品業務の募集があり、取扱商品に強い興味を示したことから、事業所に事情を説明の上、特定就職困難者雇用開発助成金の対象者としてあっせん。女性の多い職場で人間関係の構築について本人も心配していたが、明るく素直な人柄も認められ、倉庫内作業員として採用された。

○ ハローワーク担当者の所感

- ・福祉事務所との連携により就労による自立の意識が芽生えるとともに、社会的ルールに対する意識の改善が図られた。また、これまで応募しても不調に終わった理由などについて、真摯に受け止めることができるようになった。支援対象者自身が自己理解できるよう粘り強く相談することで、支援開始後4か月で就職につなげることができた。